

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミD	単位認定	1	佐藤 有紀

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ: 手作りおもちゃをつくる (子どもにとって本当に必要なあそびとはなにかを考える)

到達目標: 前期、様々な素材を用いたおもちゃ製作の経験を活かして、子どもにとって本当に魅力のあるおもちゃを考え、素材を選択しデザインする。そして自分でオリジナルの手作りおもちゃを作りあげる。

【授業の概要】講義・グループワーク・個人製作

前半は前期に用いた、いくつかの素材(布・ひも・厚紙・スポンジなど)でおもちゃの協同製作を行う。

後半は、まとめとして実際に子どもに長く安全に使用し遊んでもらうことを想定したあそびの道具を各自デザイン、製作し発表する。

【全体の授業計画・内容】

1. 共同制作 プランニング

事前学習課題: 前期で制作した作品の製作記録をまとめておく。【0.5 時間】

事後学習課題: グループの意見をまとめ、次回の製作をイメージしておく。【0.5 時間】

2. 共同制作 部品作り

事前学習課題: 作品制作に用いる素材を事前に調査、準備をする。【0.5 時間】

事後学習課題: 作品について振り返り、作業工程や感想を記録する。【0.5 時間】

3. 共同制作 組み立て

事前学習課題: 作品制作に用いる素材を事前に調査、準備をする。【0.5 時間】

事後学習課題: 作品について振り返り、作業工程や感想を記録する。【0.5 時間】

4. 共同制作 子どもの遊びの場を作る ①計画

事前学習課題: 子どものあそびについて調査しておく。【0.5 時間】

事後学習課題: 意見をまとめ、次回の製作をイメージしておく。【0.5 時間】

5. 共同制作 子どもの遊びの場を作る ②製作

事前学習課題: 作品制作に用いる素材を事前に調査、準備をする。【0.5 時間】

事後学習課題: 作品について振り返り、作業工程や感想を記録する。【0.5 時間】

6. 共同制作 子どもの遊びの場を作る ③実践

事前学習課題: 作った作品で子どもたちがあそぶ環境づくりについて考えておく。【0.5 時間】

事後学習課題: 実践後、感想を記録する。【0.5 時間】

7. オリジナルおもちゃ製作 (プランニング)

事前学習課題: 子どもの育ちの中で必要なあそびを考えておく。【0.5 時間】

事後学習課題: 作品についてのイメージをまとめておく。【0.5 時間】

8. オリジナルおもちゃ製作 (計画発表)

事前学習課題: 作りたい作品のイメージを絵や言葉に表しておく。【0.5 時間】

事後学習課題: 作品の素材や制作工程について具体的に計画する。【0.5 時間】

9. 個人制作 (素材研究)

事前学習課題: 作品制作に用いる素材を事前に調査、準備をする。【0.5 時間】

<p>事後学習課題:試作作品の作業工程や感想を記録する。</p>
<p>10. 個人制作 (素材研究 サンプル作り)</p> <p>事前学習課題:作品制作に用いる素材を事前に調査、準備をする。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:子どもや周囲の人におもちゃ作品を使用してもらい改良点を記録する。【0.5 時間】</p>
<p>11. 個人制作 (素材研究 中間発表)</p> <p>事前学習課題:本制作に用いる素材を事前に調査、準備をする。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:作品制作全体についてのイメージをまとめておく。【0.5 時間】</p>
<p>12. 個人製作と作品論文について(序論)</p> <p>事前学習課題:本制作に用いる素材・道具を考え、準備をする。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:作品について振り返り、作品のコンセプトを記録する。【0.5 時間】</p>
<p>13. 個人製作と作品論文について(本論)</p> <p>事前学習課題:本制作に用いる素材・道具・方法を考え、準備をする。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:制作について振り返り、作品の制作過程を記録する。【0.5 時間】</p>
<p>14. 個人製作と作品論文について(結論)</p> <p>事前学習課題:本制作に用いる素材・道具・方法を考え準備をする。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:制作全体について振り返り、作品の感想を記録する。【0.5 時間】</p>
<p>15. 作品発表・まとめ</p> <p>事前学習課題:子どもと自作のおもちゃで遊んでみる。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:子どものおもちゃとあそびについて自分なりにまとめる。【0.5 時間】</p>
<p>【学習のあり方</p> <p>授業で用いる用具、素材の事前準備をする。授業では積極的に造形、制作活動を行い、創意工夫を試みる。毎回授業で体験した制作活動を振り返り、保育・教育での生かし方を考察する。</p>
<p>【成績評価】</p> <p>提出物(70%) 授業態度 (30%)</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>制作記録・作品に対しての寸評によるアドバイスをを行う</p>
<p>【テキスト】 作成した資料を授業時に配布する。</p>
<p>【参考文献】授業時に紹介する。</p>
<p>【実務経験の有無】</p>